

ライフハーモニー（ダイワ世界資産分散ファンド）（分配型） ダイワ世界債券ファンドM(FOFs用)（適格機関投資家専用）を通じた ハンガリー国債の保有について

大和証券投資信託委託株式会社

米国の格付け会社であるS&P、ムーディーズはそれぞれ3月30日と31日に、経済と財政状況の悪化が続いていることを理由に、ハンガリーの自国通貨建て長期債格付けの引き下げを発表しました。

東欧主要国の自国通貨建て長期債格付け

	ムーディーズ	S&P	フィッチ
ハンガリー	<i>Baa1</i>	<i>BBB-</i>	<i>BBB+</i>
ポーランド	A2	A	A
チェコ	A1	A+	AA-

ハンガリーの現状

昨年(2008年)9月以降の世界的な金融危機の影響は新興国にも波及しました。ハンガリーについても、他の新興国同様、国内景気の悪化や信用収縮に伴う海外投資家の資金流出が発生し、通貨(ハンガリー・フォリント)の下落や債券利回りの上昇に見舞われています。

もともと同国は、比較的高い水準の財政赤字や経常赤字を抱えており、海外投資家の資金への依存度が高かったのですが、今般の金融危機の結果、一部の海外投資家が資金を引き揚げていることが、同国の資金繰りを難しくしています。

こうした状況に対して、欧州の先進各国やIMF(国際通貨基金)をはじめとする国際機関は同国への支援姿勢を明確にしており、IMF融資などが既に実行にうつされています。また、政府や中央銀行も、より一層の財政改善や、これ以上の通貨下落を阻止するための為替介入などの対抗措置を発表しています。

今後の見通し

世界的に信用収縮圧力の弱まる兆しがみられないことや、ユーロ圏経済に大きく依存するハンガリー経済の景気後退局面が続くと見込まれることなどから、同国の債券、為替相場は当面、神経質な展開が続くと考えられます。

しかし、金融市場の混乱や通貨の下落といった問題は新興国や一部先進国にも広がっていることから、問題解決のためには国際社会が協調して支援をおこなう必要があるとの認識が強まっています。既に現状のIMFの枠組みの下でハンガリー、ウクライナやルーマニアへの支援が決定しているほか、日米欧と新興国によるIMFの資金枠拡充などの新たな支援策がまとまりつつある状況です。こうした支援策に加えて、同国がEU加盟国であるとの観点から、EUやドイツをはじめとするユーロ圏先進国は支援の意向を明らかにしており、国際的な支援体制は相当強固であると言えます。

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものです。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■分配金額は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。■証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。

当ファンドの取得をご希望の場合には「投資信託説明書(交付目論見書)」を販売会社よりお渡しいたしますので、必ず内容をご確認いただき、投資に関する最終決定はお客さまご自身の判断でなさようお願い申し上げます。

販売会社についてのお問い合わせ⇒ 大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日9:00~17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

同時にハンガリーは財政改革など、信用不安の元となった不均衡の是正にあらためて取り組んでおり、本年度(2009年度)財政赤字の対GDP比はユーロ加盟の条件となる3%以下まで改善する見通しとなっています。

また、民間借入のうち、外貨建て債務が約6割を占めるという構造上、通貨が下落すると返済負担が増加するとの悪循環に陥っていましたが、中央銀行がこれ以上の通貨下落を阻止すべく、為替介入姿勢を明確にしています。こうした為替介入が功を奏するかどうかは予断を許さないものの、金融当局の積極的な取り組みは評価できるとの見方が一般的です。

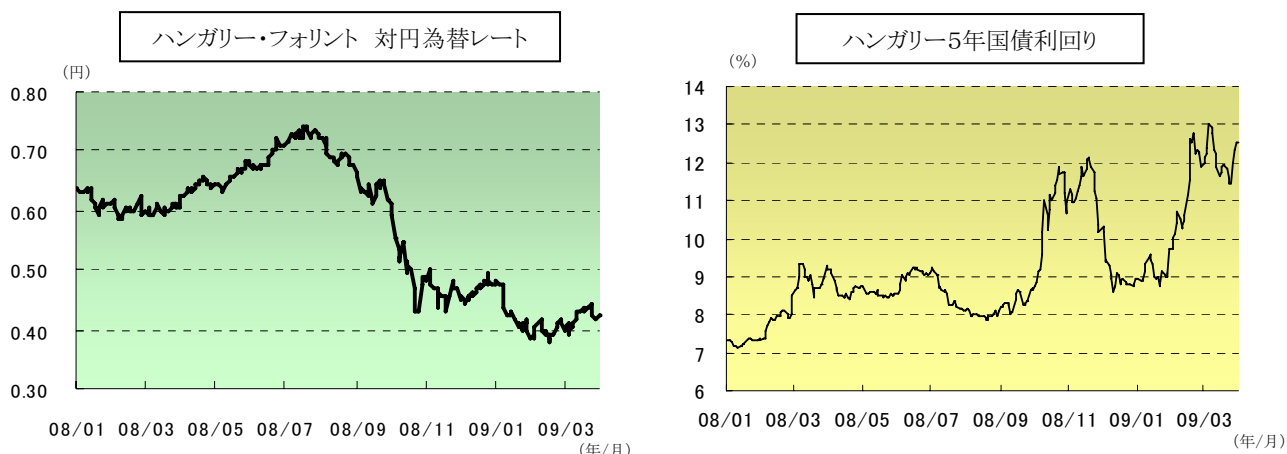
従いまして今後の見通しとしては、①EU(欧州連合)、IMFを中心とする国際支援体制が強固なこと、②財政赤字縮小など経済構造改革が進展していることなどから、世界が金融危機から脱出し、経済が回復へ向かうにつれて、ハンガリーの信用力も上向いてくると考えています。

今後の方針について

当ファンドは「ダイワ世界債券ファンドM(FOFs用)(適格機関投資家専用)」(以下「ダイワ世界債券ファンドM」)を通じてハンガリー国債を対純資産比で0.17%(2009年3月30日現在)保有しています。ダイワ世界債券ファンドMの投資する「ダイワ・ヨーロッパ債券マザーファンド」では、世界経済の悪化や市場のリスク回避姿勢の強まりを受けて、これまでハンガリー国債の組入比率を徐々に落としてきました。「ダイワ・ヨーロッパ債券マザーファンド」は信託約款上、国家機関等の発行・保証する公社債等の格付けは取得時においてA格相当以上とすることが定められていることから、今般の格下げに伴って新規の買付けは停止いたします。ただし、強固な国際支援などを背景に、中長期的に見るとハンガリーの信用力は改善に向かうと考えていることや、世界的に金利がゼロに近づく中でハンガリー金利には相対的に投資妙味があるとの見方から、既保有分のハンガリー国債の組入れは当面継続していく方針です。今後も市場動向には格段の注意を払いながら運用にあたる所存です。

以上

【債券・為替市場の動き(2008年1月2日以降)】



(出所)ブルームバーグより大和投資信託作成

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものです。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■分配金額は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。■証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。

当ファンドの取得をご希望の場合には「投資信託説明書(交付目論見書)」を販売会社よりお渡しいたしますので、必ず内容をご確認いただき、投資に関する最終決定はお客さまご自身の判断でなさようお願い申し上げます。

販売会社についてのお問い合わせ⇒ 大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日9:00~17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

ライフハーモニー(ダイワ世界資産分散ファンド)(分配型)

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

ファンドの特色

複数の投資信託証券への投資を通じて(ファンド・オブ・ファンズ方式)、内外の株式・債券・リート(不動産投資信託、REIT)及びコモディティ(商品先物取引等)に投資します。「成長型」「安定型」「分配型」の3つのファンドがあり、各ファンド間でスイッチングを行なうことができます。資産配分、投資信託証券の選定、組入比率の決定にあたっては、株式会社大和ファンド・コンサルティングの投資助言を受け、「分配型」は分配を重視して運用を行ないます。奇数月に決算を行ないます。原則、為替ヘッジは行ないません。

ファンドにかかるリスクについて

当ファンドは、主に内外の株式・債券・リート(REIT)およびコモディティ(商品先物取引等)を実質的な投資対象とします。株式、公社債、リートの価格下落、商品先物取引等の価格変動の影響や、株式および公社債の発行企業・発行体の経営不安、倒産等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、為替レートの変動の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。したがって、投資家の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。

基準価額の主な変動要因については、次のとおりです。①株価の変動(価格変動リスクや信用リスク、新興国株式への投資リスクなど) ②公社債の価格変動(価格変動リスクや信用リスク、低格付債券への投資リスクなど) ③リート(不動産投資信託)への投資に伴うリスク(価格変動リスクや分配金の変動、信用リスク、リートに関する法制度の変更、災害など) ④商品先物取引等による運用に伴うリスク ⑤外国証券への投資に伴うリスク(為替リスクやカントリー・リスク、新興国市場への投資リスクなど) ⑥その他(解約申込みに伴うリスクや短期金融資産の信用リスクなど)

これらのリスクを含むより詳細な内容は、投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」に記載しておりますのでご確認ください。

ファンドにかかる手数料等について

ファンドのご購入時や運用期間中には以下の費用がかかります。

直接ご負担いただく費用

◆申込手数料

当ファンドの申込手数料の料率の上限は、2.1%(税抜2%)です。
「分配金再投資コース」の収益分配金の再投資の際には、お申込手数料はかかりません。
※詳しくは販売会社にお問い合わせください。

◆換金(解約)手数料

換金(解約)手数料はありません。

◆信託財産留保額

信託財産留保額はありません。

保有期間中に間接的にご負担いただく費用

◆実質的な信託報酬(概算) 信託報酬の総額は、ファンドの計算期間を通じて毎日、ファンドの純資産総額に年1.67%±0.20%(税込)程度(2009年1月時点)の率を乗じて得た額とし、ファンドよりご負担いただきます。

◆その他の費用

監査報酬、有価証券等の売買にかかる手数料、資産を外国で保管する場合の費用等をご負担いただきます。(その他の費用については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。)

■当ファンドは他のファンドを投資対象としており、投資対象ファンドにおける所定の信託報酬を含めてお客さまが実質的に負担する信託報酬を算出しております。なお、上場投資信託証券は市場の需給により価格形成されるため、上場投資信託証券の費用は表示しておりません。

当該手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「手数料等及び税金」に記載しておりますのでご確認ください。

販売会社:

大和証券

Daiwa Securities

商号等

大和証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第108号

加入協会

日本証券業協会

社団法人日本証券投資顧問業協会

社団法人金融先物取引業協会

設定・運用:

大和投資信託

Daiwa Asset Management

商号等

大和証券投資信託委託株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号

加入協会

社団法人投資信託協会

社団法人日本証券投資顧問業協会

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものです。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■分配金額は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。■証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。

当ファンドの取得をご希望の場合には「投資信託説明書(交付目論見書)」を販売会社よりお渡しいたしますので、必ず内容をご確認いただき、投資に関する最終決定はお客さまご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。

販売会社についてのお問い合わせ⇒ 大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日9:00~17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>